

テーマ

興東館柳生中学校区の良さを知り、しなやかな感性を育む

目標

～体験活動等を通して、豊かな心・郷土愛・夢・誇りを育てる～

今年の取組紹介 【ふれあい広場2016】

午前中は、興東館柳生中学校で興東小学校の子どもたちが群読と合唱を、柳生小学校の子どもたちが合唱とヒップホップダンスを発表しました。どちらの子どもたちも生き生きとした発表で、大変大きな声で歌い舞い、体育館内の方々に魅了しました。中学生は一年生が、木剣体操、日剣道形について、二、三年生が大柳生太鼓踊りについて発表し、参加された地域の方々に感動を与えました。

午後からは、会場を奈良市野外活動センターへ移し、昼食後、ビンゴゲームや宝探し等のゲーム、囲碁・将棋や軽スポーツで楽しみ大変盛り上がりました。また、特別出演の「こすもす」の方々の歌や自治連合会長による二人羽織、そして参加者全員でフォークダンスを踊り、楽しい時間を過ごしました。

最後に、興東小学校の児童が、「多くの方々の前で発表することで自信ができました。これからも、この経験をいかし頑張ります。」と、しっかりとした大きな声で地域の方々や保護者の方にお礼と感謝の気持ちを込めた挨拶で締めくくってくれました。この取組を通して中学校区全体がさらに交流を深め、子どもたちが地域の中で生き生きと大きく成長していくと実感しました。



今年度のまとめ

【ふれあい広場2016】の取組から、子どもたちは、「はじまるまえは、とてもきんちょうしたけどどうまくできてうれしかった。」「発表の後、会場みんなからの拍手がすがすがしく、気持ちよくなって嬉しかった。」など地域の方々に支えられ素晴らしい経験ができました。また、地域の方々も、「普段子どもたちと話す機会が少ないが、生き生きと確実に成長しているのが分かり嬉しかった。」「一年一年成長している姿を見て嬉しかった。」「子どもたちを中心としたふれあい広場になってきたことが良かった。」「子どもたちの力強い真剣さに感動した。」など行事を通して、地域を知り、地域への誇り、そして学校と地域の関係大切にしていこうとする気持ちがさらに強まりました。

来年度に向けて

今年の取組を継承し発展させていくためにも、お互いを理解し立場を超えて協働する意義を確かめることを地域全体に浸透させ、地域ぐるみの取組としていきます。また、新しい人材育成、さらに地域が主体的に行事に取り組めるよう次年度に継承していきます。

テーマ

故郷を愛し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

目標

～歴史と自然に恵まれた環境の中で培う自己肯定感の向上を目指して～

今年度の取組紹介

・ふれあい広場2016

自分達の校区のすばらしさを、自分たち自身を知ることが大事だと考え、校区の伝統や歴史を学び、そして豊かな自然の中で学習を進めています。今年の「ふれあい広場2016」では、一年生が、柳生が剣の里になるまでの経緯と木剣体操・日本剣道形の説明を、二年生が、大柳生太鼓踊りの歴史や基本のリズムについて劇で表現し、最後に大柳生太鼓踊りの口上を述べ、三年生が太鼓踊りを披露しました。「大柳生太鼓踊り」と「木剣体操」は地域から学ぶ教材として昨年度から取り入れており、生徒たちは、とても重いシナイを身にまとい、最後まで踊りきることができ、地域の方々に感動を与えました。



・水生生物の観察

興東館柳生中学校の麓を流れる白砂川は、蛍の観光地としても有名で、水の美しさには定評があります。そこで地域の方々にご指導を仰ぎ、元気よく生きる水生生物を観察しました。この川の水質階級はⅡで、蛍の餌となるカワニナやサワガニ等も見られ、初夏には川面を飛び交う蛍のほのかな明かりで、幻想的な風景を楽しめます。生徒たちはこの体験学習を通して、豊かな環境を保っていく学習を深めました。



今年度のまとめ

地域の方々の支援により体験学習や伝統文化などを学ぶことにより、生徒に自信と地域への誇りを育むことができた。【ふれあい広場2016】では生徒たちは、「たくさんの 人とかかわる いい機会」「秋風も 負ける勢い 笑顔の輪。」「伝統を 受け継ぎ太鼓 踊り舞う」「次世代へ 伝統繋ぐ 架け橋に」と感想を俳句で表しました。生徒たちは、限られた時間の中で自分の責任を果たし、地域の方々等の拍手に大感激し、大きな達成感を得ることができました。【水生生物の観察】の取組では、「在来種 守れ環境 永延に」「いにしへの 豊かな自然 白砂川」「川の中 陰に隠れる 生き物が」等の感想を俳句に表し、地域を知り、地域を大切にしていこうとする気持ちがさらに強まりました。

来年度に向けて

少人数という機動性を生かした全校体制の取組が、本校の特徴でもあり、来年度もこの利点を生かし、この地域ならではの取組をより一層積極的に進めていきたいです。また、あらゆる機会をとらえ、地域と連携し学校の存在感や活力をアピールしていきたいです。

テーマ

「いきいき・わくわく・元気な柳生っ子」の育成

目標

体験学習を通じ、柳生のよさや特色を知り、柳生を愛する子どもの育成

今年度の取組紹介

1、柳生らしさを体験的に学ぶ

「剣聖の里」で知られる柳生では、子どもたちは剣道を通して先人から柳生に引き継がれてきたことを、体験的に学んでいます。春から竹刀を用いた木剣体操が始まります。「第102回柳生地区大運動会」では、木剣体操を地域や保護者の方に見ていただきます。秋には、柳生剣友会や保護者のご協力で『第46回剣道大会』を行うことができました。子どもたちは剣道の稽古や試合を積むことにより、心・技・体は鍛えることができました。

2、学んだことを伝えた学習発表会

学習発表会では、1年間で体験や学習や見学させてもらったことを、地域や保護者の方々に発表しています。「柳生焼」「炭焼き」等を訪れたことをまとめ、自分の感想を交え発表しました。各学年から学んだことを発表し、最後には地域や保護者と「ふるさと」を一緒に歌い、絆を深めました。



今年度のまとめ

- ・剣道以外にも、「柳生焼」「炭焼き」「闘茶会」「茶摘み」「米づくり」「柳生歴史教室」等の柳生地域の体験活動を行いました。ふるさと柳生での、地域見学や体験活動を行うことにより、どの子も今まで以上に自分たちの郷土を誇りに思う気持ちが強くなりました。
- ・柳生剣友会の方々にお世話になり、第46回の剣道大会を開くことができました。木剣体操や剣道練習といった年間を通じた取組で、柳生の歴史を身をもって学ぶことができました。心身の鍛練や礼節等、様々な力が身につけたことは、今後子どもたちの人生できっと役に立つと考えています。

来年度に向けて

- ・地域人材の更なる発掘や若い世代への協力を要請し、新しい取組も展開していきたいと思えます。そのために、本事業の計画や目標等を学校便りやホームページ更新を継続して行い、保護者や地域の方々に伝えていきたいです。
- ・本年度、興東館柳生中学校として統合2年目になり、新しい中学校区で協力し合い、「ふれあい広場2016」に集うことができました。今後も、さらに連携を深めていきたいと考えます。

テーマ

つながろう興東 育てよう 興東ブランド

目標

地域の様々な人々とふれあい、地域との連携・協働を目指す

今年度の取組紹介



地域の多くの人との出会いを大切にするとともに、地域の教育力を最大限に受け本校教育を推進しています。なかでも“もち米作り”を昔ながらの農法で行い、米に関わる様々な体験学習を実施しました。田おこしに始まり、田植え、草取り、稲刈り、脱穀等収穫に至るまで協力、指導いただき20kgをこえる収穫に児童は大変喜んでいました。

また、米作りから得られる副産物（藁等）を使って様々な活動を行いました。年間を通して地域の方々に支援していただく中で“しめ縄づくり”“大とんど”の活動も盛大に実施できました。農業は自然相手の活動でその年々の気象状況に大きく左右され収穫に影響を及ぼします。そんな中で農業、科学技術、努力そして協力の大切さを知り、感じることができました。米作りの副産物である藁を使っての“しめ縄づくり”では、地域民生児童委員の方々をはじめ、児童の祖父母、保護者の有志が一堂に会し立派なしめ飾りを完成させることができました。このしめ飾りを家に供え“大とんど”で青竹の火と共に収穫の感謝と今年の豊作を願って燃やす活動を催しました。

また、興東館柳生中学校区「ふれあいひろば2016」では、地域の方々多くの参加の下、児童が学習の成果を発表し、本校教育活動の実際を見ていただくとともに、様々な交流を通してつながりがより強固なものとなりました。



今年度のまとめ

地域に伝わる伝統文化・行事にも触れることができ、地域に誇りを持ち、さらに視野を広げる教育活動につなげることができました。もち米作りの一連の活動を通して、地域の人々との関わりがより広まっています。「我が地域の学校」という住民の意識が日に日に増してきたのか校区民全体が活動に協力するとともに理解が得られるようになってきました。

来年度に向けて

校区から得られる人の温かさや地域の産業、伝統文化の再確認と伝承していくことの大切さを「生活科」「総合なら」等を通して更に学び、郷土のことを誇りに思うとともにそのことをしっかり発信できる児童に育てていきます。今年まで行ってきた活動を地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切に、地域との絆を強固たるものにしていきたいと考えます。